学校番号	3028

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベート・ディスカッションⅠ	1	第１学年	Xreading（英語教材専門店ネリーズ） Factbook English Logic and Expression I New Edition（桐原書店）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本校の授業では、最終的に英語が使えるために必要な「総合的な英語力」を伸ばす活動を多く取り入れており、「自律した英語学習者」を育てることを目標としています。そこで、以下の４技能(聞く・読む・話す・書く)に関わる学び方を我々は大切にしています。

1. 先ずは自分で調べてみる。調べ方を教師に聞く。調べても疑問が解消されない場合、教師や友人を大いに頼る。
2. 毎日少しでも英語に触れる。語学学習成功の秘訣は「学習の習慣化」ができるかどうかである。
3. 語彙力を何よりも優先して高めること。語彙力があって初めて英語学習が効果的かつ効率的になる。
4. 声に出して読む、Overlapping または Shadowing を習慣とする。総合的な英語力向上に効果的。
5. 読解について、十分な量を読むことを意識する。読めば読むほど総合的な英語力がつく。
6. 英語を英語のまま理解する。脳内で日本語に訳す習慣や、返り読みを止める。少し易しめの文章を大量に読むこと(多読)や Overlapping から身につけることができる。
7. 積極的に他者とやりとりをする。アウトプットの機会を大切にする。使わなければ、英語力は伸びない。
8. 学びあいの場を大切にする。記憶定着率・理解度が高いのは、他者に教えることができたときである。
9. 発表する機会を大切にする。誰でも最初は緊張するが、練習と場数を踏めば自信がついてくる。
10. 基本的な文法を習得し、使える表現を増やしていく。「これって英語でどう表現するのだろう」と疑問に思った際には、すぐに調べ、実際に使ってみることで自然と表現は増えていく。
11. 読書に勤しみ、日本語の力、様々な背景知識、教養を高める。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話されるスピーチや会話（３～５分）を聞いて、ポイントをつかみながら内容を理解することができる。 ・一部英語字幕の助けを借りて、自然な速さで話されるテレビ番組や映画の母語話者どうしの会話の要点を理解することができる。	・まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを押さえながら、全体の要旨を理解することができる。 ・難しい部分を読み返すなどしながら、よく知っている分野の説明書や記事などを詳しく理解することができる。	・簡単な英語で、情報や考えなどについて互いに質問したり、質問に答えたりできる。 ・賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、モノや人を比べたりすることができる。	・身近なトピックに関して、わずかな時間の準備で、１分程度のスピーチができる。その際には具体的な理由を添えて自分の意見を述べることができる。 ・一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて述べることができる。	・段落の構成を意識して、時間をかけた修正を経て、自分の意見をわかりやすく書くことができる。 ・参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点及びその趣旨)

観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	学習内容	領域	評価規準	評価方法
前期	・Self-introduction ・Introduction to Paragraph structure ・Writing Practice ・Speaking Practice in Pairs ・Group Discussion ・Extensive Reading ・Speaking Test	読むこと 書くこと	a. ネイティブ教員とのやり取りや、多読活動を通して、学校生活や日常生活に役立つ語彙・表現を習得している。 自分の気持ちや考えなどを即興で相手と伝え合い、記述する技能を身に付けている。	・多読 ・ライティング練習
		聞くこと 話すこと（やり取り） 話すこと（発表）	b. 各テーマについて自分の意見を形成し、それをペアやグループでのディスカッションを通して、より深めることができている。	・スピーキング課題 ・グループワーク観察 ・スピーキングテスト
		話すこと（やり取り） 書くこと	c. ネイティブ教員とのやり取り等を通して、言語の背景にある文化について学んだことや、各テーマについての自分の考えを、積極的にペアに伝え合い、それについて主体的に書こうとしている。	・ペアワーク観察 ・ライティング課題
後期	・Logical Writing Practice ・Speaking Practice in Pairs ・Group Discussion ・Extensive Reading ・Speaking Test ・Writing Test	読むこと 書くこと	a. ネイティブ教員とのやり取りや、多読活動を通して、学校生活や社会生活に役立つ語彙・表現を習得している。 自分の気持ちや考えなどを即興で相手と伝え合い、記述する技能を身に付けている。	・多読 ・ライティング練習
		話すこと（やり取り） 話すこと（発表） 聞くこと 書くこと	b. 各テーマについて自分の意見を形成し、それをペアやグループでのディスカッションを通して、より論理的に深めることができている。	・スピーキング課題 ・グループワーク観察 ・スピーキングテスト ・ライティングテスト
		聞くこと 書くこと	c. ネイティブ教員とのやり取り等を通して、言語の背景にある文化について学んだことや、各テーマについての自分の考えを、積極的にペアに伝え合い、それについて主体的に書こうとしている。	・ペアワーク観察 ・ライティング課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度